

※情報解禁は<10月1日(木)18:00>以降にお願いします

宝島社

第14回



『このミステリーがすごい!』大賞

決定!

2015年10月1日

美術ミステリー＆経済ミステリーの2作が大賞受賞

大賞受賞者は**美人美術学生 & 事務員**！ 優秀賞受賞者は**ミュージシャン**！

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表:蓮見清一)が主催する、第14回『このミステリーがすごい!』大賞の受賞者が決定いたしました。

応募総数414作品の中から、1次選考(19作品通過)、2次選考(7作品通過)を経て、**一色さゆり『神の値段』**と**城山真一『ザ・ブラック・ヴィーナス』**の2作品が大賞を受賞し、**大津光央『たまらなくグッドバイ』**が優秀賞を受賞しました。大賞賞金は1200万円(均等に分配)、優秀賞賞金は200万円で、同3作品は2016年1月から3月にかけて書籍化する予定です。

『このミステリーがすごい!』大賞は、ミステリー＆エンターテインメント作家の発掘・育成を目指す新人賞です。これまで、第153回直木賞受賞者の東山彰良氏や、累計1000万部突破の『チーム・バチスタの栄光』シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出しています。大賞作品はすべてベストセラーとなり、累計56万部突破の『果てしなき渴き』(深町秋生、2014年映画化)や、『一千兆円の身代金』(八木圭一、今秋テレビドラマ化)など、映像化作品も多数世に送り出しています。

受賞者の取材も可能ですので、是非、ご検討いただけますと幸いです。

『このミステリーがすごい!』大賞は、これからも新しい作家・作品を発掘・育成し、業界の活性化に寄与してまいります。

大賞
賞金 **1200万円**
(均等に分配)

一色さゆり『神の値段』(仮)

2016年2月刊行予定

城山真一『ザ・ブラック・ヴィーナス』(仮)

2016年1月刊行予定

優秀賞
賞金 **200万円**

大津光央『たまらなくグッドバイ』(仮)

2016年刊行予定

※受賞者名はペンネームです

■『このミステリーがすごい!』大賞とは？

詳細は2枚目をご覧ください→

ミステリー＆エンターテインメントブックガイド『このミステリーがすごい!』を発行する宝島社が、新時代の新しいミステリー＆エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞。大賞賞金は文学賞最高額である1200万円。受賞作はすべて書籍化。大賞作品はすべてベストセラーとなり、『一千兆円の身代金』(今秋テレビドラマ化)『果てしなき渴き』(映画タイトル『渴き。』)など、映像化作品も多数世に送り出し、第153回直木賞を受賞した東山彰良氏や、累計1000万部突破の『チーム・バチスタの栄光』シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出している。また、受賞には及ばなかったものの将来性を感じる作品も「隠し玉」として、他の受賞作と同様に書籍化している。

《お問い合わせ先》 株式会社宝島社 広報課

〒102-8388 東京都千代田区一番町25番地 TEL 03-3239-0967 FAX 03-3288-1305

大賞
賞金
1200万円
(均等に分配)

書籍タイトル『神の値段』(仮)

2016年2月刊行予定

【あらすじ】人前に姿を見せない前衛芸術家・川田無名。唯一その正体を知るギャラリー経営者の死。果たして無名に隠された秘密とは?

美術ミステリー

30歳までに本の出版を目標に、10代の終わり頃から書いては応募を繰り返していました。

一行目から最後の行までは2ヶ月かけて書きあげ、同じく美術をやっている夫と2人でアイデアを出し合ってもう2ヶ月かけて加筆修正を行いました。

趣味は釣り、語学、映画(日活ロマンポルノからインド・中東映画まで)、アニメ鑑賞です!

一色さゆり(いつしき・さゆり)※生年月日は年齢のご確認にのみご使用ください。

1988年10月15日生まれ。女性。京都府京都市出身、静岡市在住。東京藝術大学芸術学科卒業、香港中文大学大学院美術学部在籍中。ギャラリー勤務を経て、現在主婦。

<選評>

- 専門知識に彩られた美術関連のディテールには厚みがあり、人物造形を含め、筋の運びも達者(茶木則雄)
- ・美術界をめぐるエピソードの数々が興味深く、それらを生かした不可解な謎をめぐるサスペンスとして、秀逸である(吉野仁)

書籍タイトル『ザ・ブラック・ヴィーナス』(仮)

経済ミステリー

2016年1月刊行予定

【あらすじ】必要なお金のかわりに自分の最も大切なものを差し出せますか?
——金を通じて人の心を描き出す小説。

作品作りをするときは、「経済ってこんなに面白いんだよ」と若い女性や子どもたちにも楽しめるわかりやすいものを書こうと意識しています。

経済関係のノンフィクション本は、執筆のために月10~15冊ほど読んでいます。
趣味は野球観戦で、地元の“石川ミリオンスターズ”を応援しています!

石川県七尾市の山
「城山(じょうやま)」が
ペンネームの由来!

城山真一(しろやま・しんいち)※生年月日は年齢のご確認にのみご使用ください。

1972年8月12日生まれ。男性。石川県七尾市出身、金沢市在住。金沢大学法学部卒業。

<選評>

- ・異色のコンビを配した経済サスペンスで、くいくい読ませる快作(香山二三郎)
- ・導入部から怒涛のラストまで、一気呵成に読ませるリーダビリティは今応募作中、随一(茶木則雄)

優秀賞

賞金
200万円

書籍タイトル『たまらなくグッドバイ』(仮)

野球ミステリー

2016年刊行予定

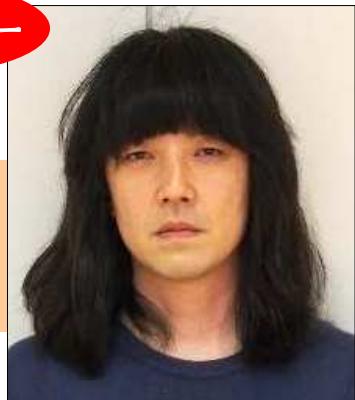
【あらすじ】八百長疑惑で自殺した往年の名投手。
彼にまつわる数々の謎の真相は?

スポーツ好きの友人が多いのでそこをテーマにしました!

活字嫌いな知人友人に囲まれており、スポーツ(特に野球)に目がない人が多いので、そこをテーマにすればいつか本になったときに、彼らにも読んでもらえるかと思い、筋立てました。

大津光央(おおつ・みつお)※生年月日は年齢のご確認にのみご使用ください。

1977年3月8日生まれ。男性。兵庫県神戸市出身、大阪市在住。現在ミュージシャン。
学生時代には馬場馬術でインカレに出場。



<選評>

- 野球ミステリーの新機軸。大賞受賞作と比べて、その才能はいささかも劣るところはない(茶木則雄)
- ・魅力的な謎を提示した異色作。独創性ということでは、今回、これが抜きん出でていた(吉野仁)

《お問い合わせ先》 株式会社宝島社 広報課

〒102-8388 東京都千代田区一番町25番地 TEL 03-3239-0967 FAX 03-3288-1305

過去の受賞者にはミリオンセラー作家や直木賞受賞者も！



代表作『逃亡作法 TURD ON THE RUN』 東山彰良(ひがしやま・あきら) 第1回大賞受賞

直木賞受賞作家

1968年台湾生まれ。福岡県育ち。第1回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞作『逃亡作法 TURD ON THE RUN』にて2003年デビュー。『路傍』(集英社刊)にて第11回大蔵春彦賞を受賞。『流』(講談社刊)にて第153回直木賞を受賞。



代表作『チーム・バチスタの栄光』 海堂尊(かいどう・たける) 第4回大賞受賞

ミリオンセラー作家
シリーズ累計
1000万部突破!

1961年、千葉県生まれ。第4回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞し、『チーム・バチスタの栄光』にて2006年デビュー。医学博士。現在は独立行政法人・放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター・Ai 情報研究推進室室長。



代表作『果てしなき渴き』 深町秋生(ふかまち・あきお) 第3回大賞受賞

2014年 役所広司&小松菜奈主演
映画化!
累計56万部突破

1975年、山形県生まれ。第3回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞し、2005年に『果てしなき渴き』でデビュー。同作は、2014年に、役所広司&小松菜奈主演で映画化(タイトル『渴き。』)。



代表作『検事の本懐』 袖月裕子(ゆづき・ゆうこ) 第7回大賞受賞

大蔵春彦賞受賞
2015年 上川隆也 主演
TVドラマ化!
(テレビ朝日系月曜最終の証人)

1968年、岩手県生まれ。山形県在住。第7回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞し、『臨床真理』にて2009年デビュー。2015年、『最後の証人』(2010年刊)がテレビ朝日系列でドラマ化(主演:上川隆也)。



代表作『さよならドビュッサー』 中山七星(なかやま・しちり) 第8回大賞受賞

2013年 橋本愛 主演
映画化!
シリーズ累計83万部突破

1961年、岐阜県生まれ。『さよならドビュッサー』にて第8回『このミステリーがすごい!』大賞受賞、2010年デビュー。2013年には橋本愛主演で同作が映画化。



代表作『珈琲店タレーランの事件簿』 岡崎琢磨(おかざき・たくま) 第10回隠し玉

シリーズ累計
165万部突破!

1986年、福岡県生まれ。京都大学法学部卒業。第10回『このミステリーがすごい!』大賞の「隠し玉」として、『珈琲店タレーランの事件簿 また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を』で2012年デビュー。

昨年
デビュー



代表作『一千兆円の身代金』 八木圭一(やぎ・けいいち) 第12回大賞受賞

今秋 ドラマ化決定!
主演は香取慎吾
(フジテレビ系)

1979年、北海道生まれ。雑誌編集者を経て、現在はコピーライター。第12回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞し、2014年に『一千兆円の身代金』でデビュー。2015年秋には、香取慎吾主演でフジテレビ系「土曜プレミアム」でドラマ化が決定している。

《お問い合わせ先》 株式会社宝島社 広報課

〒102-8388 東京都千代田区一番町 25 番地 TEL 03-3239-0967 FAX 03-3288-1305